学校番号	1201

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）自己表現(芸術)	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

音楽・書道・美術の科目を横断した授業を通して広く芸術について考察し、多様な芸術表現への造詣を深める。また、グループワークを通してチームで発表・演奏等に取り組む。

2　学習の到達目標

個々の芸術分野について相関的な学習を行い、各表現の基礎と特色を学び、自己の表現の可能性を広げる力を身につける。 複合的で新しい表現について目を向け、芸術への意識と理解を高める。 コミュニケーション能力を育み、互いを尊重しあい、力を合わせて問題を解決していく力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・芸術表現に必要な技能を身につけ、意図に応じて表現方法を工夫している。 ・音楽・書道・美術の個々の分野についての特性を理解し、その特徴を活かした活動ができている。	・観察力や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、表現手法や目的などから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 ・グループ内における適切な役割分担や、活動に対する創意工夫ができている。	・芸術的創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や芸術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞、発表に取り組もうとする。 ・課題に対して前向きな姿勢で望み授業を集中して受けることができている
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	芸術表現を知ろう・考えよう。	■舞台・現代アート等における横断的複合的芸術表現について学習し幅広く芸術表現についての知識を深める。	a:作品をよく観賞し、自分なりの楽しみ方を見つけられているか。 b:作品から感じ取ったものを言葉で表現しようと試みることができている。 c:主体的に活動に取り組んでいる。	ワークシート 観察 作品	ワークシート 観察 作品	ワークシート 記録表
	芸術表現を知ろう・考えよう	■「音」からつくる「色」、「色」からつくる「音」 聞いた音から色をイメージし、色彩を用いて表現する。また、見た色から音をイメージし即興で演奏する。 他者の考えた色彩や音についてグループ内で意見を述べ合い相互評価を行う。	a:音や色から発想し,イメージを基に構想を練れている。 b:音の効果を考え,音色やテンポを工夫して表現することができている。 色の効果を考え、構図や配色を工夫して表現することができている。 c:主体的に活動に取り組んでいる。音や色から感じ取ったものを表現しようと試みることができている。	ワークシート 観察 作品	ワークシート 観察 作品	ワークシート 記録表
1学期	芸術表現を知ろう・考えよう	■「線」からつくる「リズム」 「リズム」から書く「線」 筆で書いた様々な線を元に手や打楽器等を使ってリズム考える。また、耳にしたリズムを元に線を書く。 線とリズムの関係についてグループ内で意見を述べ合い相互評価を行う。	a:線やリズムから発想し,イメージを基に構想を練れている。 b:リズムの効果を考え,音量やテンポを工夫して表現することができている。 線の効果を考え、筆勢や太細、かすれや余白などを工夫して表現することができている。 c:主体的に活動に取り組んでいる。線やリズムから感じ取ったものを表現しようと試みることができている。	ワークシート 観察 作品	ワークシート 観察 作品	ワークシート 記録表

	ウクレレ制作	ウクレレを制作し、音を楽しもう！ ・(美術)ウクレレキットを使って、本体のデザイン、着彩をする。 ・(書道)ウクレレ裏面に千社札を制作する。 ・(音楽)課題曲を決めて、ウクレレの演奏、歌唱の演奏発表会を行う。 ■相互鑑賞	a:形に付随する音色を理解し、作ることができている。表現意図に応じた文様や文字に工夫し、効果的に表現している。 b:本体の文デザインや千社札の書体に留意し イメージに沿った表現について構想を練ることができている。 c:ウクレレの音色や制作方法を理解し、関心を持つことができている。デザイン・書を用いた制作に主体的に取り組み表現しようとしている。	ワークシート 観察 作品	ワークシート 観察 作品	ワークシート 記録表
2・3学期	カホンライブアート	①自ら奏でるオリジナルウクレレをつくろう！ ウクレレの弦を張る、調律、ボディーの着彩・塗装を制作する。	a:道具を安全に扱い作業することができる。 デザインの意図に応じて構成や色彩を工夫し、効果的に塗装できている。 b:楽器の特性を理解し、素材や技法を生かす構想を練っている。 仕上がりをイメージしたデザインを考え、表現について構想を練ることができている。 c:楽器に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 観察 作品	ワークシート 観察 作品	ワークシート 記録表
	カホンライブアート	②ウクレレを演奏してみよう！ ①で制作したウクレレを使って曲を演奏、発表する。	a:イメージをもって合奏するために必要な技能(奏法、姿勢や身体、手の使い方)を身につけ、協力し合い創造的に表している。 b:音やリズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 ｃ:ウクレレの音やリズムの特徴、基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組んでいる。	ワークシート 観察 作品	ワークシート 観察 作品	ワークシート 記録表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度